

## 取材のこつ 中学生学ぶ 小浜 郷土新聞作り向け講座



取材の仕方や見出しの付け方などを中学生に紹介した講座＝29日、小浜市の県立若狭図書学習センター



県中学生郷土新聞コンクールに向け、取材の仕方や見出しの付け方などを紹介する講座（県中学校教育研究会社会科部会、県文書館、福井新聞

社主催）が29日、小浜市の県立若狭図書学習センターで開かれた。市内の中学1年生8人が、新聞製作のポイントを学んだ。嶺南での開催は初めて。福井新聞社の徳島泰彦

NIEコーディネーターが講師を務めた。徳島コーディネーターは取材のポイントとして▽電話で「はななく、直接会って表情を見て話そう▽疑問点があれば遠慮せずに聞いて」とアドバイスした。また福井新聞の記事を題材に、中学生が実際に見出し付けに挑戦。徳島コーディネーターは「これで読者に伝わるといっ見出しを付けてみて。見出しに正解はない」と伝えていた。

受講した山口真幸さん（小浜二中1年）は「見出しや写真など、すごく工夫して新聞が作られていると分かった。自分が思ったことを分かりやすく伝えられるようにしたい」と話していた。

（小柳慶祥）